

一般社団法人千葉市認知症介護指導者の会 第3期 第7回 定例理事会 議事録

1. 開催日時 令和4年9月27日(火) 19時10分～21時20分
2. 開催場所 オンライン会議 (Zoom 使用) にて開催
3. 理事・監事の数 理事数5名 監事数1名
4. 出席者 [理事] 梅本聡 永嶋丈晴 高橋秀明 滝澤秀児 日向雅史
[特別参加] 石井紀明 (議事 1-(2)まで)
5. 議長 梅本聡 [会長]
6. 議事録作成者 梅本聡 [会長]
7. 議事

1. 活動報告・検討等

(1) 第3回 認知症×セミナー 幹事 (永嶋丈晴・石井紀明)

第3回 (2022年8月27日開催) の件について永嶋幹事より以下の報告があった。

- 申込者数 41名 (Zoom 参加 30名・会場参加 11名)
- 参加者数 33名 (Zoom 参加 23名・会場参加 10名)
- 今回活用した千葉県介護人材確保対策事業補助金「介護人材キャリアアップ研修支援事業」に関する千葉県への実績報告等は完了した
- 後援先への礼状の送付ならびに実績報告は完了した
- その他、別紙「アンケート結果」にもとづき報告

(2) 第4回 認知症×セミナー 幹事 (石井紀明・滝澤秀児)

第4回のセミナー要旨・プログラム (別紙添付) について出席者にて検討を行った。

○セミナー要旨について

長文となっていて少々読みにくいと、文中に箇条書きを取り入れるなどして読みやすくしてもらいたい

→ 幹事了解。修正を行うこととなった

○プログラムについて

* 介護・福祉系専門学校の学生・教員側から声だけではなく、現状の介護人材に関する情報 (就業実態・賃金・国の介護人材確保策等) も発信し、介護学生・介護現場が現状について相互理解した上でのセミナーにしてもらいたい

→ 幹事がプログラムへの取り入れを検討することとなった

* 介護学生の生の声を聞くとして、「未来の介護や職場に望むこと」と題して介護学生数名が登壇するとなっているが、一人でも多くの介護学生の声をセミナーに反映させるために、事前に介護・福祉系専門学校数校の学生さんにアンケートを行ってはどうか。

そのアンケート結果をまとめ、そのアンケート結果をもとにトークセッション（本セミナーのメイン）を行ってはどうか。

→ 幹事了解する。アンケートの内容や協力依頼・回収方法等については、幹事ならびに介護・福祉系専門学校にて非常勤講師を務めている永嶋副会長・高橋理事にて検討することとなった

○幹事より以下の報告があった。

* 本セミナーは、千葉県介護人材確保対策事業費補助金の申請を行う。

なお、過去3回のセミナーについては「介護人材キャリアアップ研修支援事業」として申請していたが、今回はセミナーの内容等から「介護人材就業促進事業」として申請を行う

* 開催方法はオンライン LIVE 配信とする

* 開催日時 令和4年12月17日（土）13:00～17:00にて決定

(3) 支援専門職 SCHOOL 運営部会（高橋秀明）

高橋部会長より、以下の報告があった。

○オンラインセミナーについては、年間スケジュールにそって現在実施中

○法人・施設・事業所向けの「法人・施設プラン」について現在準備を進めている

○出席者から以下の意見が出された

* 対面式（集合型）での開催を予定している「教室」について、より多くの参加者の確保・遠方ならびに千葉県外の参加を可能とするため、オンラインと併用（ハイブリット型）にしてはどうか。

→ 部会長ならびに他出席者賛同する。

チラシの作成も含め、準備を行っていくこととなった

(4) 防災・減災等マニュアル策定部会（永嶋丈晴）

永嶋部会長より、以下の報告があった。

○当部会の活動は、現在休止中である

(5) 広報・IT 部会 (滝澤秀児・梅本聡)

一 滝澤理事より、当会公式 YouTube チャンネルについて、以下の報告があった。

○第2回認知症×セミナー「認知症と行方不明」の質疑応答の動画編集を行い公開した。

・R4/9/22 公開

【質問 TIME その1】①認知症等の市民への啓蒙活動。工夫していることは？

・R4/9/28 公開予定

【質問 TIME その②】リスクに挑む職員が挫ける「組織の無理解」。どう向き合っていたのか？

1. 会務 (法人庶務)

(1) 期末における各対応 (梅本)

当会は11月末日を以って、第3期事業年度が終了となることから、以下の対応等が必要になる旨、梅本より報告があった。また、対応等について出席者にて検討を行った

一. 会費請求 (正会員・準会員・賛助会員 会員有効期間の更新)

* 会費の額について変更なし。会員更新手続きに関するお知らせの発信は梅本が行う

二. 決算 (第3期) 処理

* 契約しているクラウド会計ソフトにて行う (担当梅本)。

なお、ソフトへの必要事項入力にともない、通帳管理を行っている永嶋副会長、第2回・第3回認知症×セミナーで入出金を行っている幹事 (永嶋・高橋) と随時協力して決算処理を行う

三. 事業報告 (第3期) 作成

四. 事業計画 (第4期) 作成

五. 収支予算書 (第4期) 作成

* 三～五については、第4期第1回定時社員総会の開催にあわせ作成を行う。

担当は後日決定する

六. 第4期 第1回定時社員総会 日時の決定と準備

* 次回以降の理事会にて日時を決定する

(2) 契約更新期限の整理 (梅本)

梅本より以下の提案が行われた

当会も活動が3期目となり、契約を行っているもの・申込を行い利用しているものが増えてきたため、各契約更新期限ならびにパスワード・IDを整理し、一元管理を行いたい

→ 出席者了承。

整理等については、後日梅本より各自に連絡を行うこととなった

3. その他

フリーディスカッション

出席者より、当会の企画としてオンラインを利用したフリーディスカッションや質疑応答を行ってみてはどうかとの提案があった。

→ 出席者開催に向け同意。

*ただし、すでに支援専門職 SCHOOL のイベントして「Zoom フリーミーティングルーム」と「Zoom 質疑応答 (Q&A) ルーム」の開催を想定しているので、そちらと差別化を図るのか、そちらを開催する準備とするのかは検討が必要

*開催手段 (Zoom、Instagram、Twitter、Facebook など) の検討を行う必要がある

*以上を踏まえ、永嶋副会長が中心となり当該企画の準備を行うこととなった

認知症×セミナー「認知症と抵抗・拒否というレッテル貼り」
アンケート結果

参加者：33名 アンケート提出者：17名

設問1 講演の評価について教えてください

【講演1 抵抗・拒否への「視点と理解」】 当たり前と認知症										
梅本 聡	大変参考になった	12	参考になった	2	あまり参考にならなかった		参考にならなかった		無回答	3

【講演2 抵抗・拒否への「アセスメントと実践」】 根拠と支援策										
永嶋 丈晴	大変参考になった	10	参考になった	4	あまり参考にならなかった		参考にならなかった		無回答	3

【講演3 抵抗・拒否への「誘発と技術」】 きっかけとコミュニケーション										
高橋 秀明	大変参考になった	14	参考になった	3	あまり参考にならなかった		参考にならなかった		無回答	

特別講演 【抵抗・拒否から意図せず発生したアクシデント 組織に求められる職員を擁護する職場環境づくり】										
外岡 潤氏	大変参考になった	12	参考になった	5	あまり参考にならなかった		参考にならなかった		無回答	

設問2 このセミナーのテーマはいかがでしたか

大変興味があった	12	興味があった	5	あまり興味がなかった		興味がなかった		無回答	
----------	----	--------	---	------------	--	---------	--	-----	--

設問3 このセミナーをどこでお知りになりましたか

※複数回答

チラシ	8	当法人HP	1	SNS	4	家族・友人等からの紹介	5	無回答		
その他	5	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の上司からの勧め ・千葉市認知症介護指導者の会からのメール ・千葉市認知症介護指導者の会の会員からの情報提供 ・千葉県や市からのメールでの情報提供 ・千葉市社会福祉協議会からの情報提供 								

設問4 次回も当法人セミナーに参加したいと思いますか

ぜひ参加したい	8	テーマ次第で参加したい	9	参加しない		
---------	---	-------------	---	-------	--	--

設問5 次回のセミナーはどのようなテーマを期待しますか(自由記述です)

過去既に関催され、私自身が参加出来なかった全てのテーマに興味があります。特に認知症×行方不明については、当時私自身が1ヶ月の間に2回ほどお1人でお困りの恐らく認知症を患っていらっしゃる方に遭遇し、警察に連絡したことがありました。今や身近にもなっている課題にも感じます。また今回のテーマでアセスメントの重要性について非常に共感させて頂くことが出来ました。私自身は現場から離れ、日用品メーカーの営業員として従事しており、お客様に排泄ケアを通してその方らしい生活を送っていただけるようご提案をしている中、「この人認知なんでいじるんです」や「認知だからトイレに行けない」というまさにレッテルを貼られているケースに遭遇致します。その度にアセスメント重要性を繰り返しお伝えしてきたつもりでございましたが、やはり1度の限られた時間での訪問では私自身がそのご利用者様の定量的な情報しか分からない為、ご質問に対してそういうケースの要因を探るところまで行く着くことが難しいことばかりです。貴重なご講義を頂きましてありがとうございました。

動画を拝見し感動致しました。認知症の方を自立的に支援する手法、事例等が知りたいです。セミナー参加させていただきありがとうございました。

過介護にならないための自立支援について

認知症本人の気持ち、想い

資料

認知症と未来を担う介護学生

開催日時

令和4年12月17日(土) 13:00～ 開場 12:30

ターゲット

すべての介護・福祉従事者、大学・福祉専門校関係者、一般市民

セミナー要旨

介護業界では長らく人手不足が取りざたされています。そのひとつとして新人職員の定着率が低い現状があります。介護労働安定センターの統計によると勤続3年未満に退職してしまう新人職員の割合は約6割を占めています。なぜ新人職員は退職してしまうのでしょうか？大学での介護福祉専攻や介護福祉専門学校を卒業し、希望の職場に就職する。就職後、認知症ケアの難しさに直面する、また「こんなはずじゃなかった」「やりたい介護と違っている」と新人職員と福祉現場とのミスマッチが起きている可能性が要因のひとつとして考えられます。そこには学校側が目指していること、学生の思い、福祉現場の実情、それぞれのずれ違いが起きているかもしれません。介護福祉の未来を担う学生が各々に目標、希望を持って長く続けられるような職にするために、関係機関はそれぞれの立場を踏まえ、たうえで共通認識を持つ必要があると思われます。そこで、今回のセミナーでは介護福祉学校、学生、そして介護現場に関わる認知症介護指導者によって、それぞれの認識や思いを理解し、さらに未来の介護学生に向けてどのような教育、組織作りを目指していくのが望ましいのかヒントになるようなセミナーを開催します。

プログラム

13:00～13:05	開会のあいさつ プログラム確認	(一社)千葉県認知症介護指導者の会 メンバー
13:05～13:45	講演1 「認知症ケアになぜ人材が必要？」	一社)千葉県認知症介護指導者の会 石井紀明
13:50～14:30	講演2 「介護福祉学校の目指す介護職人物像とは？」	専門学校 新国際福祉カレッジ 教員
14:30～14:45	休憩	
14:45～15:05	講演3 「未来の介護や職場に望むこと」	専門学校 新国際福祉カレッジ 学生 2名 [進行] (一社)千葉県認知症介護指導者の会 石井紀明
15:05～15:15	次回セミナーの案内	(一社)千葉県認知症介護指導者の会 理事 滝澤秀児
15:15～15:25	休憩・会場準備	
15:20～16:30	トークセッション&質疑応答 「未来を担う介護学生」 認知症指導者&福祉教員&学生による、福祉現場の現状 未来の介護についてセッションしよう ※オンラインもあり	[コメンテーター] ・専門学校 新国際福祉カレッジ 教員 1名 ・専門学校 他 教員 1名 ・介護福祉学校生 多数 ・(一社)千葉県認知症介護指導者の会 メンバー 複数名 [コーディネーター] 千葉県認知症介護指導者 石井紀明
16:30	閉会のあいさつ	